

# 政策協定

2021年10月14日

大田区立消費者センターにて

市民連合おおたの会は、立憲民主党東京都第4区総支部、日本共産党大田地区委員会、社会民主党大田総支部、新社会党大田総支部、フェアな民主主義と下記の政策に合意し、総選挙をたたかい、実現をめざします。

## 1 憲法に基づく政治の回復

- ・安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
- ・平和憲法に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
- ・核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
- ・地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

## 2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

- ・従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
- ・医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの待遇改善を急ぐ。
- ・コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人や企業を救うため、万全の財政支援を行う。

## 3 格差と貧困を是正する

- ・最低賃金の引き上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
- ・誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し、子育て世代や若者への社会的投資の充実を図る。
- ・所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また低所得層や中間層への再分配を強化する。

## 4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

- ・再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する。
- ・エネルギー転換を軸としたイノベーションと地域における新たな産業を育成する。
- ・自然災害から命と暮らしを守る政治の実現。
- ・農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する。

## 5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

- ・ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別を許さないために選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させるとともに、女性に対する性暴力根絶に向けた法整備を進める。
- ・ジェンダー平等をめざす視点から家族制度、雇用制度などに関する法律を見直すとともに、保育、教育、介護などの対人サービスへの公的支援を拡充する。
- ・政治をはじめとした意思決定の場における女性の過少代表を解消するため、議員間男女同数化（パリテ）を推進する。

## 6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

- ・森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。
- ・日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
- ・内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。

## 7 大田区民の命と暮らしを守り、中小企業の振興をめざす

- ・感染症指定医療機関公社荏原病院は、今日コロナ禍で新型コロナウイルス感染防止に重要な役割を果たしている。独立行政法人化の計画を見直し、都立病院にもどす。
- ・羽田空港の新飛行ルートにともなう都心上空の低空飛行は、落下物への脅威や騒音などにより、住民に不安・恐怖を与えている。計画を中止し、従前の海上ルートにもどす。
- ・リニア新幹線の工事は中止する。
- ・日本経済を支える中小企業、大田区の町工場を守る。下請二法を拡充、固定費の補助を行い、発展させる。

上記政策を共有し、その実現に全力をつくします。

立憲民主党東京都第4区総支部

斎藤りえ

日本共産党大田地区委員会

山本純平

社会民主党大田総支部

山内正紀

新社会党大田総支部

開田泰憲

フェアな民主主義

斎藤りえ

市民連合おおたの会

海部幸造